

名古屋大学大学院生命農学研究科植物生産科学専攻
食料経済学研究室教授の公募について

1. 選考方針

植物生産科学専攻は、国内外の食料需給や植物資源利用の多様化、地球規模での環境変動に対応し、植物機能や生産性の改善を通じて、食・環境・健康の質的向上に貢献することを目的としています。また、生命科学を基礎として、農学分野の科学的・実践的な技術の研究・開発に取り組むとともに、生命科学と社会科学の理論に裏付けられた高度な専門性と幅広い農学的素養および国際性を身につけた人材の育成を目指しています。

植物生産科学専攻のもとに設置された食料経済学研究室では、主に農業経済学と食料経済学に依拠し、国内外の農業をめぐる資源・環境問題、農業生産の技術的・経済的発展、食料が加工・流通などの食品産業を経由して最終消費者に至るプロセスを教育研究の対象としています。さらに、農業や食料と密接に関係する歴史・文化や制度・政策を分析に組み込むことによる高度な教育研究を目指しています。また、国際協働に基づく教育研究活動の推進にも力を入れています。

このたび公募する教授には、上記のような農業経済学・食料経済学の領域において優れた研究業績を有し、当該研究室の教育研究の発展に貢献する人物を求めています。さらに、高い専門性を活かした社会貢献に意欲的であり、大学の管理・運営に熱意と責任感をもってあたる人物を求めています。

2. 選考方法

選考委員会で審議選考し、研究科教授会の議を経て、候補者が決定されます。なお、面接やセミナーをお願いすることがあります。交通費等は自己負担とします。

3. 食料経済学研究室の教員構成と授業科目

1) 教員構成

食料経済学研究室の教員構成は、教授1名（本公募）、准教授1名、助教1名です。

2) 食料経済学研究室の教員が担当している主な授業科目

大学院：生命農学本論（分担）、農業経済学特論、生命農学演習、修士論文研究、博士論文研究など

学部：全学教育科目の一部、現代社会の食と農、生命と技術の倫理（分担）、農学セミナー（分担）、農業・資源経済学、フードシステム論、農業・農村制度論、生命農学序説（分担）、持続的生物生産学（分担）、資源生物科学実験実習（分担）、海外実地研修（分担）、海外学生受入研修（分担）、国内実地研修（分担）、専門セミナー、卒業論文研究など

4. 必要書類

- 1) 応募する旨明記した書類（応募者の電子メールアドレス、連絡先を含む）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績リスト
（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください）
- 4) 主要な原著論文や著書等（10編以内、複写でも可）
- 5) 現在までの研究内容の要約
（2,000字程度、研究業績リストの番号を引用してください）
- 6) 今後の研究についての抱負（2,000字程度）
- 7) 着任後の教育についての抱負（1,000字程度）
- 8) 大学の管理運営，社会連携，国際協働についての考え（1,000字程度）
- 9) 過去10年間の研究費等取得状況（代表・分担を明記すること）
- 10) 特記すべき活動実績（教育・研究活動、学会関連活動、社会貢献、国際協働などで選考の参考となる事項があればお書きください）
- 11) 照会者の氏名と連絡先（応募者について照会できる方2名）

※ 上記の書類1部に加え、「4) 主要な原著論文や著書等」以外の書類をひとつのPDF形式のファイルにまとめ、CD等のメディアに保存して送付してください。

※ 提出された書類は本選考以外の目的には使用しません。4)以外の応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却いたしません。4)の応募書類は、後日お返しいたします。

5. 応募方法、その他

1) 書類は「応募書類在中」と朱書し、下記宛に書留便など配達記録の残る方法でお送りください。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学 大学院生命農学研究科 植物生産科学専攻
食料経済学研究室教授選考委員会
委員長 谷口光隆

- 2) 応募期限は、平成30年6月11日（月）17:00（必着）です。
- 3) 本公募に対する問合せは、本選考委員会委員長宛に電子メールでお願いします。
E-mail: taniguti@agr.nagoya-u.ac.jp
- 4) 応募締め切りの1週間後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。
- 5) 当研究科では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の取り組みについては、下記Webページをご覧ください。
(<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>)